

教育目標（最上位目標）

「自ら考え、判断し、言動できる人」の育成
～ 自分らしく あなたらしく ～

豊かな人間性

- 「特別の教科：道徳」の研究を深め、「考え、議論する」道徳の授業への転換を図る（全職員による道徳の授業実践）
- 豊かな体験的活動を通じた自他の関わりを意識させるとともに、挑戦や他者との協働の重要性の実感させる

健康・体力

- 日常的な運動習慣の充実と体力の向上
- 一校一運動の実践（生徒会主催の取組）
- 望ましい食習慣等を考えるとともに健康的な生活習慣の確立

資質・能力の育成

何ができるようになるか
○学校教育の基本

- 4つの実践 ①認め合います ②みんなとします
③自分がします ④互いを尊重します
- 小中連携共通実践 ～挨拶・返事・後始末～

何が身に付いたか
○学習評価を通じた学習指導の改善

- 学びの振り返り（学習評価を踏まえた学習指導の改善）
- 指導と評価の一体化を踏まえた学習評価の充実
- 自ら考え、判断し、言動できる資質・能力

生徒の実態

- 素直でまじめである。
- 明るく、元気である。
- 先輩後輩の仲が良い。
- 自主性、主体性が弱い
- 言葉遣いが荒いところがある
- 学力に二極化がみられる

子供の発達をどのように支援するか
○配慮を必要とする子供への指導

- 個の育ち・集団の育ちを支える教育活動の工夫
一人一人の実態等を踏まえた個に応じた指導・支援（校内支援体制の充実）

めざす生徒の姿

- ①自ら考え、判断し、言動できる人
- ②校訓「自主」「親愛」「努力」の具現化
「自主」…責任ある行動をとる力（自律）
「親愛」…対立やジレンマに対処する力（対話）
「努力」…新たな価値を創造する力（創造）

何を学ぶか
○教育課程の編成

- 学習指導要領の目標及び内容
- 学ぶ意義を踏まえた体験的活動で身に付けたい力の明確化
- キャリア教育の視点を踏まえた望ましい勤労観・職業観の育成
- 総合的な学習の時間「チャレンジビジネス」の推進

どのように学ぶか
○教育課程の実態

- 校内研究テーマ「自ら考え、判断し、言動できる人」の育成を目指した学校・授業改善
- 特別支援教育の視点を踏まえた学習環境
- 端末を活用した「個別最適な学び」・「協働的な学び」の授業実践

実施するために何が必要か
○指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働

- 「時間」という資源に焦点を当てたカリキュラム・マネジメントの推進
- 質的授業改善の充実
- キャリア教育の充実
- 家庭・地域との連携・協働
- 「ふるさと学習」を柱とした特色ある教育活動（炭焼き体験学習、海洋教育、三大行事等）の充実
- 海洋教育の推進
- 「島立ちの教育」に関するマイスケジュールタイムの実施
- 働き方改革⇒生徒の健やかな成長（15の島立ち）のために、教職員が「働きやすさ」「働きがい」「心身の健康」を十分に実感できる教育環境の整備

安心・安全を守る

- 学校安全体制の構築、毎月の安全点検と危険箇所等の改善
- 避難訓練等の取組を通じた危機管理能力の育成
- 認め合い、助け合う絆づくりと安心して過ごせる居場所づくり

地域と共にある学校づくり

- 保護者や地域と貸し借りではない協働体制の構築と地域教育資源を活用した特色ある教育活動の推進
- 毎月1回授業参観を実施
- 学校からの情報発信（学校だより、学校HP等）